



ふんか

金武町子ども芸能発表会



金武町文化協会の文化祭舞台部門の一環として開催された「金武町子ども芸能発表会」。

吉田琉舞太鼓道場に通っている子ども達が練習の成果を披露しており、写真の演目は幕開けの「ちやうじゃ うふしゅ長者の大主」。



巻頭のことば



沖縄県文化協会顧問
ジャーナリスト

宮城 鷹夫(100歳)

考え方や価値の体系を示す「文化」という言葉は、社会を見つめていく上で、うまい表現と思う。意外と意識しない面もあるが、戦争と平和、貧困と豊富、嵐と静、曇と晴があり、人は個人や家庭、団体、自然とのかわりどけと風土の中で生きている。いったん自己のページを開いたらユメが止まらぬ人生がある。これからもあるだろう。

そのような経過を思いつつ、みんなで新しい文化と人生を考えて行く。これが文化協会の原点ではないだろうか。そして沖縄県文化協会は設立から28年、28の市町村文化協会と連携を取りながら文化芸術の振興と各地域の文化運動の振興に取り組んでいる。会員相互の交流、連携も深めてきた。

仲田美加子前会長が「伝承と新たな創造の努力」と述べているように、なお新しい文化への創造と対応へ取り組んでいく。沖縄の歴史と文化を考えると、消えかかった焚火をかき起こす棒のような、それは限りなく湧く貴重な運動と思う。これからの展開にも注目しよう。



Contents

巻頭のことば 沖縄県文化協会 顧問 宮城 鷹夫

会員情報	1
自主事業 第26・27回 しまくとぅば語やびら大会	11
自主事業 第5・6回 U-18 島唄者コンテスト	12
自主事業 沖縄県文化協会賞 令和3・4年度 沖縄県文化協会賞授賞式	13
受託事業 令和3・4年度 地域伝統文化の継承・発信支援事業	14
受託事業 令和3・4年度 しまくとぅば普及センター運営事業 報告	15

国頭村文化協会

会長 大城 久昭 / 事務局長 宮里 光

国頭村文化協会は平成16年に設立され、現在では31団体が所属し、やんばる文化の振興・発展を目的に積極的に活動しています。

令和元年度において、鳥取県岩美町と国頭村の児童交流開始30回を記念し、「鳥取県青少年郷土芸能の祭典2019」へ国頭村文化協会がゲストとして招待され、「かぎやで風」「花笠」「谷茶前」の3演目を披露しました。来場者より、「沖縄の雰囲気を感じられた」「琉球舞踊の独特な地謡と踊りで楽しめた」などの感想があり、沖縄の伝統芸能を体感していただけた交流になりました。

令和2年度から4年度については新型コロナウイルスの影響により、例年開催している舞台発表会や視察研修などが実施出来ませんでした。次年度は新しい生活様式を取り入れつつ、活動の幅を広げていきたいと思ひます。



鳥取県青少年郷土芸能の祭典2019 国頭村文化協会 出演写真

今帰仁村文化協会

会長 仲本 義朗 / 事務局長 久田 哲史

今帰仁村文化協会は平成11年に設立され、今年で24年目を迎えます。今年度においても新型コロナウイルスの影響は大きく、村まつりを始め各種イベントが中止となり、発表機会の制限は厳しいものがありました。そのような中でも、だからこそ各団体・会員は危機感を持ち、自主的に稽古を再開しサークル発表会を開催するなどの動きが見られ、コロナ禍の中で少しずつ文化活動が再始動し始めているところです。

一方では、当協会の創立20周年記念誌が、足掛け2年の歳月を経てようやく完成を迎えます。緊急事態宣言を繰り返す中で、記念誌の編集作業がなかなか進まず困難な面もありましたが、役員・会員の皆様に支えられようやく完成が目前となりました。次年度の総会では、この20周年記念誌発刊式典も併せて執り行なう計画です。村の文化活動の益々の発展を願い、今後も活動していきたいと思ひます。



20周年記念誌編集作業

R4北部地区語やびら大会(優勝)

本部町文化協会

会長 饒平名 知政 / 事務局長 細川 英彦

旧会館(中央公民館)の立替工事が令和元年に始まり、そして、世界中を脅威に落とし入れた、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、人々の行動制限が余儀なくされ、感染力が弱まりつつあり、去った3月19日に5年マールの待ちに待った、第13回本部町文化祭が、新築された本部町文化交流センターで開催することができました。

参加団体は25団体、参加人数は240名余の会員は、ここ5年間の思い、そして、日ごろの練習の成果を舞台いっぱい、思う存分披露し盛大に行われ、観客を魅了し、出演者にも満足げの笑みが見られました。やっと、通常の文化活動の兆しがみえて来た今日です。



ピリアロハウクレレ



古典音楽



琉球民謡

伊江村文化協会

会長 内間 博昭 / 事務局長 新城 米広

伊江村文化協会は、令和元年12月23日に設立総会を開き、正式に発足しました。組織が発足して翌年には、新型コロナウイルス感染症の感染が広がり、多くの人が集まっての事業等が出来なくなっていました。令和4年度12月に記念すべき「第1回伊江村文化祭」を開催することができました。内間博昭文化協会会長のあいさつから幕開けした舞台発表ではダンスサークルや民謡研究所、琉舞・日舞など12サークルが出演し、会場を盛り上げました。また、改善センターには、伊江少年クラブの書が展示され、会場に訪れた人たちはたくさんの作品に見入っていました。これを契機に北部連合文化協会の皆さんや県文化協会と連携し、村の文化振興の中心的な役割として充実した活動が展開できるよう取り組んでいきたいと考えております。



文化祭展示部門



文化祭舞台部門

名護市文化協会

会長 比嘉 康夫 / 事務局長 岸本 ちさと

2年余りに及ぶ長いコロナ禍から、少しずつ日常を取り戻しつつある令和4年度。事業が再開され、当協会でもオトナの社会見学(舞台鑑賞ツアー)3回を実施、第33回名護市文化祭も2月に無事終了。また、9月にチャンプルー舞台(大西公民館)、10月に古典芸能舞台(羽地地区センター)の部会合同発表会を小規模ながら実施。初めての試みだったが、文化祭縮小版という内容でいずれも好評であった。準備、控室、音響・照明など課題はあるものの、地域施設でのイベント実施は文化協会や事業を知ってもらう有意義な取組みだと感じた。500円チケットを販売し、文化協会からの持出しで予算を作ったが、会員のイキイキとした表情や来場者の笑顔は価値のあるものだ。

あらゆる団体が、模索し工夫を重ねながら活動を続けている。執行部と会員が団結して知恵を出しあえば、乗り越えていけるものと信じている。



部会合同発表会2022
チャンプルー舞台
2022/9/25 大西公民館



オトナの社会見学23
特選沖縄の伝統芸能
2022/11/20

宜野座村文化協会

会長 津嘉山 朝政 / 事務局長 仲間 出

平成8年に設立された宜野座村文化協会は、各部会の活動を紹介するために平成10年から継続して文化祭を開催しております。

令和4年度は、長い間悩まされた新型コロナウイルス感染症も収束に向かい、村内の行事も徐々に再開し始めたことを受け、会員が切望していた文化祭を3年振りに開催することができ、会員の機運を高めることに繋がりました。また、しまくとぅば語やびら北部地区大会の開催地が本村だったことから、村内の学校や文化協会関係者にも募集をかけ、出場者の輩出及び人材育成に寄与する機会となりました。

今年度はコロナ前と同様に活発な部会活動ができることと、コロナ禍で活動を休止していた部会の再開を願っております。



第24回宜野座村文化祭
(展示部門)



第24回宜野座村文化祭
(舞台部門)

金武町文化協会

会長 宜野座 清徳 / 事務局長 仲間 仁

令和4年度当協会の総会はコロナウイルス感染症対策のため各部会会長のみの参加となりましたが、下期になるとコロナ感染状況も弱まり3年ぶりの文化祭開催では展示部門及び舞台発表に多くの方々が足を運ばれ、更に子供芸能発表会では会場を大いに盛り上げていました。

その他の活動

令和4年度、当協会(八重山芸能部会)より沖縄県指定無形文化財保持者に川井民枝先生が認定され、これを記念し八重山芸能部会では同年3月25日に八重山芸能部会定期公演が開催された。

今後の活動課題

令和5年度ではこれまで休部していました現代音楽及び民謡部会が復活します。



文化祭舞台部門



文化祭展示部門

恩納村文化協会

会長 池宮城 秀光 / 事務局長 長浜 健一

恩納村文化協会はおかげさまで、本年度創立30周年を迎えることとなりました。

去った11月3日に行われました文化祭では、初めての試みで、昼間は子どもたちの演舞を見ていただき、夜は大人の部の二部構成で行われました。本年度から、空手の演武と「しまくとぅば語やびら県大会」に出場した児童生徒の発表なども舞台の上で行われ、演じる側も、見る側もワクワク楽しめたコロナ禍以来の3年ぶりの賑やかな文化祭となりました。

本年度下半期の事業は目白押しで、12月10日には30周年記念事業の一つで恩納ナビ一縁の地で「恩納節奉納演奏会」が行われ、また、2月17日～19日の3日間は文化展が開催されました。文化展は、例年通り各部会の展示に加え、一般の方の作品展示も好

評で、一番の目玉となったのは、恩納村出身の絵画の巨匠と言われている故仲嶺康輝氏の特別展を同時開催したことで、3日間で366人の方が展示場をおとずれました。

現在、当文化部会は13部会に本年度加入した空手部を含めて14部会になりました。

過去に比べると、会員の減少が懸念されていますが、キープポイントは、子どもたちの育成です。恩納村は、自然・風土・文化・歴史など、どの面をとっても個性的な素晴らしい地域であることは、自他ともに感じているところですが、若い世代にそれを受け継いでいくことが私たち大人の使命と言えるでしょう。これからも、当文化協会の活性化に努めてまいります。



2022/12/10 奉納演奏会



2022/11/3 文化祭



2023/2/17~19 文化展 故仲嶺康輝展

うるま市文化協会

会長 吉田 治 / 事務局長 仲間 稔

コロナ感染の影響で去年一昨年に思うように事業実施できませんでした。令和4年度は、感染予防を徹底しながら、多くの事業を実施しました。7月に総合文化祭(舞台の部)発表と、しまくとぅば語やびらうるま市大会、8月には、子ども文化祭舞台発表、11月には琉球古典音楽芸能合同発表、2月には総合文化祭(展示の部)展示会と新春芸術祭舞台発表(琉球民謡・日本舞踊)を同時に行いました。しかし、事業に参加する会員は例年のような数ではなく、観客数も収容人数の3分の1程度で、まだまだコロナ感染の影響が残っている状況でした。また、今年度から次年度にかけて退会する会員や休部する会員が増えているのが現状です。この状況をどのように解決して会員数を増やしていけるか、次年度は多くの会員が参加出来るような仕組み作りや新規部会を設置するなどの工夫が必要だと思っています。



2023/2/11~12
総合文化祭(展示の部)



2023/2/12
第6回新春芸術祭

沖縄市文化協会

会長 立津 文堂 / 事務局長 渡慶次 秀峰

令和4年度の沖縄市文化協会は、創立67年目になり芸術文化の創造と伝統文化の継承及び発展に寄与する事とともに心豊かなくらしをめざして「未来への創造・躍進する文化」のスローガンを掲げて事業を推し進めております。

今年度は【第45回記念文化祭】として、展示部門は令和4年10月28日(金)から30日(日)の3日間、沖縄市体育館にて華道・茶道・美術・写真・陶芸・書道・盆栽・琉歌・文芸・フラワーデザイン・工芸・体験コーナーと盛りだくさんの力作が一堂に会され3年ぶりに盛大に行うことができました。

舞台部門では令和4年11月3日(木)から令和5年2月26日(日)までに11部門9公演が、「市民小劇場あしびなー」と「沖縄市民会館中ホール」を中心にハワイアン・古典芸能・空手古武道・民謡・合唱・歌謡・大正琴・しまくとぅば・日本舞踊・童謡・ピアノなど日頃磨き上げた「技」を舞台いっぱい繰り広げ実施する事ができました。



合唱部



ハワイアンカルチャー部



第45回記念文化祭

読谷村文化協会

会長 仲里 義光 / 事務局長 小波津 直也

「コロナ禍でも感染対策を十分に講じながら積極的に事業を行う」ことを念頭に、例年通り文化祭や子ども文化祭、しまくとぅば語やびら大会、煌めく新春大祝賀パーティーを開催しました。また、第48回読谷まつりも通常開催され、舞台部門の各古典音楽・琉舞研究所や島唄部会、フラのサークル、更に展示部門の演劇部会、盆栽部会、茶道部会などが出演し、活気を取り戻したまつりの中で披露することができました。ウイズコロナからアフターコロナへ!新時代を迎え、全会員一丸となって活動していきたいと思ひます。



子どもたちの名演技



開演前のスナップショット

嘉手納町文化協会

会長 新垣 満保 / 事務局長 比嘉 裕美子

3年にも及ぶコロナ禍により文化活動が休止を余儀なくされ、サークルの解散や会員減少に影響するなど厳しい会活動でした。

嘉手納町文化協会は昨年度創立30周年を迎え、記念式典の開催、記念誌の発刊に取組み無事成功裏に終え新たな決意で出発いたしました。新役員体制で迎えた令和4年度は、コロナを乗り越え文化活動を開始しよう!と、11月に健康作り・会員交流を目的に、「パークゴルフ大会」を開催。12月に委託事業として、嘉老連主催「芸能鑑賞会」を開催。

今年2月には、3年ぶりに第29回「嘉手納町文化祭」を開催。展示部門・舞台部門・呈茶席でもてなしと、賑やかに楽しく大成功に終わることが出来ました。

令和5年度も益々元気に各部の特色を活かした活動に取り組んでいきます。



創立30周年記念式典

北谷町文化協会

会長 桃原 雅子 / 事務局長 當眞 杏菜

当文化協会は、今年で37年目になります。

設立当初6部門でスタートした当文化協会も、現在は古典芸能部・民謡部等の舞台部門が12部会、書道部・美術部・写真部等の展示部門が6部会、約400名の会員は切磋琢磨し、地域発展に尽力しております。

令和4年度には新型コロナの発生により、開催できませんでした総合文化祭を3年ぶりに開催することができました。

これで停滞していました会の活動も活発になっていく事を願っております。又令和4年度には、美ら島おきなわ2022年の国民文化祭で「お香を聞く」という沖縄県内では珍しい行事を北谷町が開催した【お香の祭典】にお手伝いで参加しました。

県内外からの参加で予定していましたチケットも完売でした。



総合文化祭 舞台



お香の祭典



総合文化祭 展示

北中城村文化協会

会長 稲福 日出夫 / 事務局長 大屋 みゆき

北中城村文化協会は、令和4年度は主催事業のしまくとぅば語やびら大会、文化祭「展示部門」及び「舞台部門」を無事開催することが出来ました。

久しぶりの開催という事と、国民文化祭が沖縄で開催されたこともあり、「美ら島おきなわ文化祭2022」を掲げ、沖縄県のホームページや国民文化祭のパンフレットでも掲載され、出演者も大変張り切っておりました。会場も視察団の来館や、村内外からの来場者もあり、大盛況で幕を閉じることができました。

また、令和3年度に新しく立ち上げた「北中城村小・中学生文芸大賞」も今回第2回目となり、詩・自由作文・俳句・川柳に加え、短歌を追加し、多くの応募作品の中から、それぞれの部門の小学3・4年生の部、小学5・6年生の部、中学生の部から大賞を選び、舞台部門の中で、表彰式を行う事ができました。

協会誌「しま13号」も5月に発刊いたしました。



第25回文化祭
舞台部門
しまくとぅば部「寸劇」



第2回北中城村 小・中学生文芸大賞の大賞受賞者

中城村文化協会

会長 仲松 正敏 / 事務局長 稲嶺 盛昌

中城村文化協会は平成2年12月16日に会員相互の連携を密にし、広く村民の文化創造と振興に努めると共に、中城村の文化向上を図ることを目的に設立されました。

これまで、文化協会の主な活動としては村主催の文化まつりや護佐丸まつり、わかてだを見る集い等の協力事業各部会の発表会慰問公演等の活動を行ってきましたが、文化協会独自の発表会を実現出来てない事が課題でした。

今回、令和4年11月27日に第1回「護佐丸の響き」を開催する事が出来、村民多くの皆様にご来場いただき大盛況となり、毎年開催して欲しいとの声があり会員も文化活動に意欲が出てきたものと考えます。

今後とも会員一同連携を密にし、これまで以上に文化活動を展開する所存であります。



第1回
護佐丸の響き

宜野湾市文化協会

会長 城間 盛久 / 事務局長 平良 綾乃

当会は昭和59年に設立し、約650名の会員から成ります。活動の特徴の一つが古典芸能公演が年2回あることです。その一つが古典芸能部主催で毎年6月に開催される「藝能祭」(スタート時は「父の日公演」という名称)です。令和4年度は新型コロナウイルスの困難を乗り越え、3年ぶりに開催することができ、約500名のお客様にご来場頂きました。もう一つが毎年11月に開催される「文化祭」での公演です。藝能祭が古典芸能部だけの発表であるのに対し、文化祭はすべての専門部会が日頃の活動の成果を発表する最も大切な日。こちらもコロナ対策を行いながら前年に続き開催することができ、すべての部会員お一人おひとりの晴れやかな表情がとても印象的でした。

1月には役所ロビーにて「新春美術企画展」を、また3月には役員研修を3年ぶりに実施することができ会も日常を取り戻しつつあります。これからも諸事業を通じ市民と豊かな文化芸術を守って参ります。



文化祭展示部門



文化祭舞台部門



文化祭呈茶席

浦添市文化協会

会長 銘苅 良光 / 事務局長 比嘉 シゲ子

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の拡大が収まらず引き続き事業の中止を余儀なくされることが多々ありましたが、創立40周年事業として、記念式典と記念誌の発行を行い、また文化講演会を開催することができました。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を講じながら3年ぶりの文化祭(11/25・金～11/27・日)を開催することができ、会員から活動できることへの意気込みが感じられ、会員・観客から芸術の秋を満喫しました、と多くの喜びの声が寄せられました。

第45回浦添でだこまつり舞台芸能(10/29・土)では、琉球舞踊部会(こども芸能)をはじめ6部会の皆さんの舞台上でにぎわいました。浦添市文化振興事業「気軽にクラシックコンサート」を美術館で開催(7/3・日、7/22・金)、「村まわり組踊」(2/23・木)を浦城自治会で開催、組踊・萬歳敵討の公演を行い、地域住民や市内外からの観客から身近で鑑賞できる組踊に好評を得ました。3/11・土は、文化協会会員、市民の皆様への周知を図り文化講演会を開催しました。



村まわり組踊



第27回
文化講演会

西原町文化協会

会長 山田 武 / 事務局長 山里 勝也

今年度は、令和2年から続く新型コロナの影響で中止を余儀なくされた、第16回西原町文化祭を11月11日～12日の日程で開催することができました。4年ぶりの文化祭に、会員の皆さんの意気込みが準備の段階から伝わり、2日間にわたる展示・舞台を成功裏に終わらせることができました。

また、昨年度開催予定だった第3回子ども文化祭も2月12日～13日の日程で開催されました。準会員の展示作品や舞台発表に加え、地域で活躍している子ども達の展示作品と舞台発表もありました。今回初めて特別展示として西原中学校生徒の絵画作品、ビーチクリーン活動で拾ったレジ袋やペットボトルなどのゴミで作られたクリーンアート作品も展示され、子ども達の活躍に感銘と感動を覚えました。

本協会も会員の高齢化に伴い、今後の事業継続が悩まれるところですが、準会員や地域の子どもの活躍を応援育成しながら、本協会の発展に繋げていきたいと思えます。



第16回文化祭 オープニングセレモニー



第3回子ども文化祭 展示

那覇市文化協会

会長 崎山 律子 / 事務局長 野原 巴

平成4年4月に設立の那覇市文化協会。令和4年は創立30周年を迎え、令和5年1月20日に記念式典を那覇市パレット市民劇場で挙行了しました。式典はこれまで当協会会員として活躍された方の功勞表彰、支えていただいた賛助会員の方への感謝状贈呈が主な内容となりました。また、次年度に向け30周年記念誌の刊行及び記念特別公演を行い、2年にわたる周年記念事業を予定しております。30周年を機に会員一同、更なる文化創造へ邁進することを確認しました。

会員の総力で取り組む「あけもどろ総合文化祭」は令和4年に第31回目を迎え、なは文化劇場なは一と、パレット市民劇場、那覇市民ギャラリー等を会場に令和5年1月7日～3月18日までの間賑やかに開催され、22部会総勢約1000名の会員が参加し、多彩な舞台、展示の発表が行われました。



2022/1/20
創立30周年記念式典



2022/1/20
創立30周年記念式典

豊見城市文化協会

会長 玉那覇 昭二 / 事務局長 金城 信三郎

豊見城市文化協会は、令和4年10月23日に豊見城市市制施行20周年記念事業、豊見城市文化協会創立30周年記念事業、第30回豊見城市総合文化祭を開催した。今回は、美ら島おきなわ文化祭2022、第37回国民文化祭が開催されることから総合文化祭のプログラムに組踊「手水の縁」公演も組み入れ、盛大に開催した。また、10月30日には国民文化祭「川柳の祭典」が行われ、歓迎のアトラクションとして古典音楽斉唱はじめ琉球舞踊「四つ竹」「谷茶前」や空手演武、琉装体験記念撮影コーナーを設けるなど、好評であった。



幕開け斉唱



琉球民謡部会



組踊「手水の縁」



組踊地謡の皆さん

八重瀬町文化協会

会長 神谷 清一 / 事務局長 比嘉 修

令和3年度は、「コロナ禍における八重瀬芸能祭」と題し、会員の文化活動の持続やWithコロナを踏まえた新たな文化活動を模索すべく、国立劇場小劇場にて無観客の映像収録事業を行った。琉舞、日舞、古典音楽の会員や子どもたちは初めての国立劇場ステージでの貴重な経験となった。

令和4年度は、文化協会総会後の特別講演会として「地域に根ざした文化施設」をテーマに演出家の富田めぐみ氏を招き講演会を開催。「文化は町の個性であり、町民に愛され誇りの持てる文化施設」について考える機会となった。

コロナ対策を施し観客を動員し「しまくとぅば大会」を開催した。

文化活動をととした住民交流と文化活動の啓発を目的に「無料体験講座(全5回)」を琉舞、三線、太鼓、空手、コーラス、日舞、盆栽、沖縄芝居の部門で実施した。子どもから高齢者まで幅広い年齢層の町民が参加した。



八重瀬町しまくとぅば大会



コロナ禍における八重瀬芸能祭



特別講演会

南城市文化協会

会長 與那嶺 紘也 / 事務局長 知念 良光

平成18年の市町村合併により南城市文化協会が設立した。当初は各地区の特色をいかした事業運営が主体であったが、10年目で統合し現在に至っている。

昨年15周年の節目の年を迎えたが、コロナ禍で延び延びとなっていた記念式典を来る5月に開催することになっている。

本会は700人の会員、17部会で活動している。今年度の主事業は、7月の文化協会賞授賞式、八重山芸能公演。8月の子ども芸能公演はコロナ禍で中止となったが、10月の芸能公演、かいされー大会、11月の歌碑めぐり、琉球舞踊部の「かりゆし芸能公演」が開催され好評だった。

新年の総合文化展は300点余の作品が出展され大盛況。元旦の「新春の宴」、3月の「さんしんの日プレゼン企画」は市観光協会との共催で観光客も一緒に大いに盛り上がった。

その他、佐敷地区、大里地区の芸能祭、ハワイアンカルチャー部の公演も予定されている。



新春の宴



芸能公演 幕開け

与那原町文化協会

会長 根川 清義 / 事務局長 久場 英

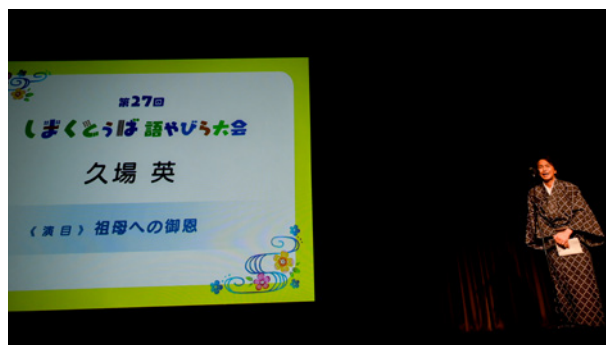
これまで新型コロナウイルス感染拡大防止のため各部門活動の自粛を行ってきましたが、美ら島おきなわ文化祭2022で展示部門(美術工芸・書道・写真・華道)、舞台部門(古典芸能・郷土民謡・邦舞・洋舞)が3年ぶりの文化祭開催で賑わいました。

コロナ感染の影響で活動が再開できていない部門もあり出展されていない部もありましたが、事務局として各評議員の方との情報交換は密に行い対応をしています。

また、総会も開催できず会員の皆さんとの交流ができませんでしたが、令和5年度は総会の開催も予定しています。

今年度は各部門活動の再開と町主催のふれあい文化フェスティバルの開催を予定しています。

これからも各部門一丸となって文化協会を盛り上げていきたいと思ひます。



語やびら大会

南風原町文化協会

会長 與那嶺 芳夫 / 事務局長 神里 操也

令和3年度は、コロナ感染拡大する中で計画している事業が中止延期になりました。しかし、令和4年度の定期総会において多くの会員から事業開催を望む声があり、6月23日慰霊の日には郷土芸能部による「十七八節」歌三線と平和コンサートの開催を皮切りに11月には、展示舞台の総合文化祭(第16回南風原文化祭)を開催しました。今回は、美ら島おきなわ文化祭2022南風原実行委員会事業の一環として開催し、舞台動画を初めてYouTube配信しました。また、12月には、令和4年の南風原町功労賞等の受賞者をはじめ関係者による報告会を開催しました。年が明けて1月に郷土芸能部による南風公演(三線独唱・琉球舞踊・器楽合奏・民謡)を開催しました。2月の「第10回南風原子ども文化祭」では、子ども達の素晴らしい展示作品・元気溢れる舞台が演じられ観客からも好評でした。

来年度においても、コロナ対策を万全に会員相互の親睦をはじめ、後進の育成、文化の発信、継承発展のため活動を進めていきたいと考えております。



6月23日 慰霊の日 鎮魂の奉納



11月 第16回南風原文化祭



2月 第10回南風原子ども文化祭
書道パフォーマンス



12月 受賞報告会



1月 第13回芸能公演 南風

糸満市文化協会

会長 仲宗根 巴津美 / 事務局長 仲宗根 玲子

令和2(2020)年、当文化協会は2月から全ての活動が停止した…。12月になりようやく少し動きがあり息を吹き返した。糸満市、社会福祉協議会、文化協会がタイアップして各地域デイサービス回りで敬老の方々に慰問をする事だった。25カ所を訪ねた。琉舞を交えてのミニライブ。皆の笑顔がマスクを通して伺えた。

令和3(2021)年、3月 展示部門の春の逸品展を市役所のロビーにて開催。昨年は見送ったので、今回18回目の開催、作品の展示を楽しそうに設営。展示部門にも新しい春が来た。



糸満市に待望の観光文化交流拠点施設シャボン玉石けん「くくる糸満」が2022年4月に開館した。糸満市文化協会は二日間、市民とともに落成を祝い柿落し公演でカーリーをつけた。



美ら島おきなわ文化祭2022が糸満市でも行われた。着物ショーを開催しましたが、糸満市では耳慣れない初めての催しで市民の高い関心を集めた。舞踏文化協会の着装部会と古典部会が中心となり拍手喝采で幕を閉じた。



文化協会創立以来初めて緞帳のある舞台上で文化祭を行なった。展示部門・舞台部門で有意義な文化祭にすることができた。



コロナ禍ではありましたが南山組踊保存会の力量が発揮された、舞台で好評を頂きました。



書初め大会が3年間でぎすぎすしたところ今年は市内の3・4歳から中学生までの作品を一般公募し展示しました。2日で1000人を超えた集客でした。大成功。

久米島町文化協会

会長 吉本 景正 / 事務局長 村田 香織

久米島町文化協会では、町主催久米島まつりに文化祭舞台部門として参加、展示部門は約10年ぶりに久米島博物館で開催することができました。また3年ぶりの久米島古典民謡大会は文化庁伝統行事等公開支援事業を活用し、キャンオンマーケティングジャパン様と東京文化財研究所様に撮影のご協力をいただきました。今年度特筆すべきなのはスポーツ庁が推進する武道ツーリズムによって、久米島の琉球古武道や沖縄空手が注目され、インバウンド観光業やスポーツ庁関係者、雑誌取材等の皆様が古武道体験をされたことです。島内企業と協力して琉球古武道を紹介する冊子を作成したり、クルーズ船が久米島に就航する際演武をする等、武道部会としての今後の活動が期待されます。一方で、三線や箏曲の研究所がコロナ禍後活動を再開させることが難しく、会員数減少が顕著になり今後の活動が気になるところです。若者が減少し続ける中での若手育成がカギになるかと思えます。



スポーツ庁参事官古武道体験



久米島まつり演武



古典民謡大会



第19回久米島町文化祭展示部門

一般社団法人宮古島市文化協会

会長 饒平名 和枝 / 事務局長 松谷 初美

令和4年度は事業の全てを開催することが出来ました。7月には、第27回鳴りとうゆんみゃ〜く方言大会を開催。6名の方がそれぞれの地域の味わい深い方言で発表しました。市民総合文化祭の展示部門は未来創造センターにて開催。舞台部門(芸術劇場、音楽祭、芸能祭、こどもシアター)、郷土史部門(史跡巡り)も開催し、改めて文化の大切さを感じる年度となりました。第3回「新春市民書初め会」には60名の市民が参加。新年に相応しい言葉をしたためました。第6回「宮古島文学賞」は全国17都道府県から60作品の応募があり、一席、二席、佳作の3作品の入賞が決定しました。入賞作品は本協会HPにて公開しています。今年度、特筆すべきは、美ら島おきなわ文化祭2022の中で、「宮古芸能フェスティバル」と「みゃーくふつフェスタ」を沖縄県と宮古島市から受託し、開催したことです。宮古の芸能とみゃーくふつを島内外に発信できたことは、大変意義深いことでした。

多良間の八月踊り「長寿の大王」塩川字会



第17回市民総合文化祭写真部会

石垣市文化協会

会長 江川 義久 / 事務局長 玻名城 安教

市民会館の大改修工事や長いコロナ禍のため、4年ぶりに開催された石垣市民総合文化祭は第25回目を重ね、サブタイトルの「—いま、ふたたび—」には、これまでの文化協会の長い歩みに感謝し、4年ぶりの開催を迎えた今回を大きな節目と受け止め、次へとしっかりつなげていきたいという会員や関係者の熱い思いが込められています。

3月4日午後1時に開幕、展示の部では7部会（華道・書道・美術・写真・陶芸・歴史民俗・食文化）の発表、また今回初めての試みとして開催された華道と書道のワークショップにもたくさんの市民の参加がありました。また、当文化祭の一環として開催された『第20回サンシン大合奏会』

にも流派を問わず、多くのサンシン愛好家の皆さんが集まり、まるで4年ぶりの開催を祝うかのように、三線の音色が響き渡りました。

5日の夜は舞台の部。昔から「唄の島、踊りの里」と言われるように、うた三線はもちろん、箏曲、太鼓、民俗舞踊、八重山舞踊勤王流、琉球芸能、そして民踊愛好会。また八重山拳法の演武や島のことは「すまむに」と、実に多彩な表現が一堂に会し、4年ぶりの文化の祭典を大いに盛り上げました。

これからも石垣市文化協会の活動が「育てよう文化の心！文化のまち！」づくりに、少しでも寄与することができますよう、いま、ふたたび力強く歩み始めます。



総合文化祭



すまむに部会 ワークショップ



サンシン大合奏会

沖縄県北部連合文化協会

平成26年12月に発足し、北部7市町村文化協会（国頭村、今帰仁村、本部町、伊江村、名護市、恩納村、金武町）で構成されます。

会長 饒平名 知政（本部町文化協会会長）

副会長 吉田 治（名護市文化協会会長）

事務局長 上間 清博（本部町文化協会）

沖縄県中部連合文化協会

平成7年12月に発足し、中部10市町村文化協会（うるま市、沖縄市、読谷村、嘉手納町、北谷町、北中城村、中城村、宜野湾市、浦添市、西原町）で構成されます。主な事業は、中部連合交流会を毎年1月に開催しています。

令和3年 会長 山内 昌吉（嘉手納町文化協会会長）

副会長 山田 武（西原町文化協会会長）

事務局長 比嘉 裕美子（嘉手納町文化協会事務局長）

令和4年 会長 山田 武（西原町文化協会会長）

副会長 仲松 正敏（中城村文化協会会長）

事務局長 山里 勝也（西原町文化協会事務局長）

沖縄県南部連合文化協会

平成7年12月に発足し、南部5市町村文化協会（南城市、与那原町、南風原町、八重瀬町、久米島町）で構成されます。主な事業に会報誌『なんぶ文化』や文芸誌『なんぶ文藝』を刊行。令和3年（10月3日）には創立25周年記念式典・祝賀会を南風原町立中央公民館（黄金ホール）で開催しました。また、第2回歌謡フェスティバルを開催。令和4年6月26日には、第21回南部文化賞を開催しました。

令和3年度 会長 松田 竹雄（南風原町文化協会会長）

副会長 根川 清義（与那原町文化協会会長）

與那嶺 紘也（南城市文化協会会長）

新里 清文（八重瀬町文化協会会長）

事務局長 平良 友子（専任）

令和4年度 会長 新里 清文（八重瀬町文化協会会長）

根川 清義（与那原町文化協会会長）

與那嶺 紘也（南城市文化協会会長）

與那嶺 芳夫（南風原町文化協会会長）

事務局長 平良 友子（専任）

自主事業

第26回 しまくとぅば語やびら大会



令和3年12月に開催した「第26回しまくとぅば語やびら大会」は、取組みをされている市町村の皆様のおかげで、会場の入場者を制限して開催することができました。新しい試みとして当日YouTubeのライブ配信をして、県内4カ所で市町村文化協会の方々にご協力をいただきパブリックビューイングを行いました。



第26回 しまくとぅば語やびら大会 20組 23名

NO.	演題	氏名	推薦団体
1	鯉頭佈い(江戸古典落語より)	南亭 こったい(玉城智)	南城市文化協会推薦
2	楽しかった魚つり (イユークワァーシーヤタラシメエタン)	又吉 楓馬	今帰仁村立兼次小学校4年
3	ぬんでいちまくとぅばや	譜久嶺 マリサ	与那国町教育委員会推薦
4	北部地区担当	いさお名ゴ支部	FEC推薦
5	オバアぬ合言葉	新垣 七教	南風原町立北丘小学校6年
6	沖縄の植物(うちなーぬきーぐさ)	宮里 朝圭	沖縄市立比屋根小学校6年
7	離れて強まったうちなー文化への思い	宮城 政司	宜野湾市文化協会推薦
8	八重山地区担当	凸凹トラベリング	FEC推薦
9	「ありんくりん うんぬきやびら 西原むにーしまくとぅば」	喜屋武 ハツ子	西原町文化協会推薦
10	しまくとぅばの大切さ	比嘉 彩愛	豊見城市立伊良波小学校5年
11	ういまい かいまい きんやぎさまちよ〜	前川 良子	(一社)宮古島市文化協会推薦
12	与那国地区担当	町田 千歩	FEC推薦
13	クラハ・山田やひるましむん	又吉 莉子	恩納村立山田小学校3年
14	群星物語	當銘 朋恵	石垣市文化協会推薦
15	くらのみぬキジムナー	照屋 真心・津田 碧海	伊平屋村立伊平屋小学校2年
16	宮古地区担当	知念 臣悟	FEC推薦
17	風気げし	城間 璃音・辺士名 綾星	浦添市立仲西小学校6年・5年
18	我が人生	與古田 八重子	うるま市文化協会推薦
19	読谷村と三線	兼謝名 希実	読谷村立読谷中学校2年
20	中南部地区担当	なち	FEC推薦

開催日: 令和3年12月4日(土)
場所: 沖縄コンベンションセンター
会議棟
出場: 15市町村1団体(FEC)、
20組、23名

※FECとは沖縄のお笑い団体で演劇集団FECのことで、受託業者の提案による

自主事業

第27回 しまくとぅば語やびら大会



「第27回しまくとぅば語やびら大会」は、9月に北部地区、中部地区、那覇・南部地区大会(宮古・八重山地区は別途独自開催)を同日に行い、令和5年の1月の県大会は、「しまくとぅば県民大会」第2部のプログラムの1つとして実施され、大勢の観客を沸かせる大盛況の大会でした。また第26回に引き続き本島1カ所、宮古・八重山各1カ所計3カ所でパブリックビューイングを行いました。



第27回 しまくとぅば語やびら大会 16組 19名

NO.	演題	氏名	所属・職業	推薦団体
1	我ったーおじーやガマ生まり	古波蔵 咲枝里	球陽中学校1年	恩納村文化協会
2	ぬちぬバトン	浦崎 直生	城岳小学校4年	那覇市文化協会
		中川 信子	主婦	
3	えっ、英語で琉歌	神谷 愛	渡慶次小学校6年	読谷村文化協会
4	「ことわざんきやーんとうんなま (ことわざ 昔と今)」	渡真利朗男	農業	(一社)宮古島市文化協会
5	やせーぬのうじしまくとぅばで…	吉田 涼音	座安小学校2年	豊見城市文化協会
6	まーぞん いじょーら すまむにゆ	宮良彰	自動車整備士	石垣市文化協会
7	びんぼう神のかわらばん	津田 碧海	伊平屋小学校3年	伊平屋村教育委員会
		照屋 真心	伊平屋小学校3年	
8	「ぬーまー やーでいぬつえーぬつうういん (馬は家族 生命は生命の上に)」	来間玄次	多良間村政策参与	多良間村教育委員会
9	沖縄女子高生 あるある	與那覇 由莉	陽明高校1年	陽明高等学校(浦添市)
		大城 陽南子	陽明高校1年	
10	私の夢	比嘉 隆夫	和仁屋自治会	北中城村文化協会
11	ちむんき すみぶさん どうなんむに!! 心に染めたい どうなんむに	田頭 一	与那国小学校4年	与那国町教育委員会
12	未来は懐かしい(勝連パーマー)	野島 大源	団体職員	うるま市文化協会
13	老人パワー70才・80才やサラパンヂ	仲松 文子	家事	宜野湾市文化協会
14	三線との出会い(サンシンとうぬ出会い)	与那嶺 榮路	兼次小学校5年	今帰仁村文化協会
15	しまくとぅば創作小話&歌「コーヒールンバ」	富浜 宗信	サービス業	南城市文化協会
16	祖母へのご恩	久場 英	看護師	与那原町文化協会

開催日: 令和5年1月21日(土)
場所: 西原町町民交流センター
さわふじ未来ホール
出場: 16組19名(北部3組4名、
中部5組6名、那覇南部4組5名)

自主事業

第5回 U-18 島唄者コンテスト

「第5回U-18 島唄者コンテスト」は予選を動画審査にして、本選はお客様を制限して本人歌唱で開催しました。コンテスト当日の様子の動画をYouTubeチャンネルにアップしたところ2カ月間で3,000件を超える視聴があり、関心の高さと情報発信の方法の広がりが見えました。



本選

開催日時: 令和4年2月5日(土) 14時開演

場 所: 国立劇場おきなわ小劇場

出 場 者: 15名

受 賞 者: 最優秀賞 池田陽生(岡山市)、優秀賞 石川未侑(うるま市)
奨励賞 山田健太(石垣市)審 査 員: 大工哲弘(審査員長/民謡歌手)、神谷幸一(民謡歌手)、
吉田真和(舞踊家)、大城貴幸(古典・民謡音楽家)

池田陽生



石川未侑



山田健太

自主事業

第6回 U-18 島唄者コンテスト

「第6回U-18 島唄者コンテスト」は、第5回に引き続き予選を8月に動画審査で行い、9月の本選は約300人の観客を魅了し盛会裏に終わりました。なお、本選は「しまくとぅば県民大会」第1部のプログラムの一つとして実施されました。



本選

開催日時: 令和4年9月18日(日)

場 所: シャボン玉石けん くくる糸満

出 場 者: 17名

受 賞 者: 最優秀賞 伊江里菜子(那覇市)、優秀賞 與儀杏珠(宮古島市)、
奨励賞 兼謝名希実(読谷村)審 査 員: 大工哲弘(審査員長/民謡歌手)、
泉恵得(声楽家・琉球大学名誉教授)、神谷幸一(民謡歌手)、
大城貴幸(古典・民謡音楽家)、山城亜矢乃(舞踊家)

伊江里菜子



與儀杏珠



兼謝名希実

自主事業

沖縄県文化協会賞

沖縄県文化協会賞は地域の文化活動に参加し、文化の向上に尽くした個人及び団体に対して、その功績をたたえ沖縄県文化協会会長が表彰する制度です。

- 沖縄県文化協会功労賞は、文化活動、振興に著しく功労のあった個人。
- 沖縄県文化協会奨励賞は、地域で文化活動に参加し、文化の向上に尽くした個人。
- 沖縄県文化協会団体賞は、文化活動に実績を持つ団体。

自主事業

令和3・4年度 沖縄県文化協会賞授賞式

令和3年度はコロナ感染症の感染拡大を防止するため、高齢者が県内全域から集う催しであるため、会場施設での開催を中止し、受賞者の功績概要を紹介する冊子を写真入りにして、記念品とともに各受賞者へ郵送した。令和4年度は、12月8日(木)14:00からアイムユニバースでだこホール大ホール(浦添市)で開催しました。

令和3年度受賞者

推薦文化協会	功労賞	奨励賞	団体賞
国頭村文化協会	玉城 敬子		
今帰仁村文化協会	喜屋武 米子	渡慶次 淳子	与那嶺区消防団 国頭サバクイ保存会
本部町文化協会	仲程 めぐみ	當山 明美	上地流空手道 もとぶ修武館
名護市文化協会	新里 清栄	石原 勝子	
宜野座村文化協会	嘉手納 良美	石川 管子	宜野座村文化協会 沖縄民踊部会
金武町文化協会	吉田 三津子	糸村 昌子	女性コーラス「さくら」
恩納村文化協会	知花 洋子	長浜 利子	山田伝統獅子舞保存会
うるま市文化協会	田村 和子	澤岨 京子	うるま市文化協会 書道部
	宮里 加代子	新里 紹吉	
沖縄市文化協会	伊佐 恵美子	山下 泉	
	平良 須賀子	富里 敬子	
読谷村文化協会	嘉手苺 幸代	渡久地 三郎	大木徳武佐太鼓
嘉手納町文化協会	多和田 奈江子		
北谷町文化協会	新城 恵子	桐原 好枝	北谷町文化協会 大正琴部会
北中城村文化協会	喜屋武 馨	喜屋武 千代子	北中城 三水会
中城村文化協会	玉那覇 堅一	大城 利江	中城村文化協会 古典音楽部会
宜野湾市文化協会	新城 康弘	平良 成子	
	一条 舞貴	友寄 春美	
浦添市文化協会	銘苺 良光	比嘉 シゲ子	女声合唱団「スウィング」
	垣花 讓二	武富 美智子	
西原町文化協会	波平 常則	宮本 康申	西原町 文化協会 大正琴部会
那覇市文化協会	喜名 朝駿	幸喜 石子	那覇市文化協会 生活文化部会
	大河 寛祥	金子 康一	
豊見城市文化協会	座安 獲移子		
八重瀬町文化協会	仲里 栄昭	知念 亜希	八重瀬町 汗水節の里連絡協議会
南城市文化協会	大城 幸雄	知念 一雄	南城吟友会
与那原町文化協会	久貝 友子	島袋 啓次	
南風原町文化協会	金城 節子	小浜 博文	神里民俗芸能保存会
糸満市文化協会	上原 聡	下門 るみ子	
(一社)宮古島市文化協会	下地 昭五郎	久貝 弥嗣	琉球國祭り太鼓宮古支部
石垣市文化協会			
計(名・団体)	30名	27名	17団体

令和4年度受賞者

推薦文化協会	功労賞	奨励賞	団体賞
今帰仁村文化協会	与那嶺 雄誠	山本 芳枝	
本部町文化協会	内間 清彦	古堅 義則	ピリ アロハ ウクレレ サークル
名護市文化協会	山川 幸子	神山 常夫	
宜野座村文化協会	玉代勢 豊子	島田 忠彦	宜野座村文化協会 空手古武道部会
金武町文化協会	松堂 洋子	与那城 恵子	伊芸区南又島保存会
恩納村文化協会	宮城 榮子	伊波 美枝	
うるま市文化協会	大城 昭成	安里 勝枝	うるま市文化協会 合唱部コールグリーンハーモニー
	平川 善栄	兼島 兼良	
沖縄市文化協会	山内 徳光	照屋 正子	コーラスTutti(トゥッティ)
	大宜見 朝彦	比嘉 サエ子	
読谷村文化協会	長浜 真博	泉川 幸子	読谷村文化協会演劇部会
嘉手納町文化協会	濱里 伯子	金城 善信	光史流太鼓保存会
北谷町文化協会	崎原文子	高宮城 由里子	しまくとぅば青年部
北中城村文化協会	仲村 修博		
中城村文化協会	新垣 末子	新垣 宏徳	中城村文化協会 古典舞踊部会
宜野湾市文化協会	上間 千枝子	名嘉 京子	
	玉城 巖	大城 君子	
浦添市文化協会	真境名 あき	新垣 桂子	
	与那嶺 房子	照屋 初子	
西原町文化協会	上里 初枝	仲宗根 三枝	西原町文化協会 しまくとぅば部会
那覇市文化協会	高良 正幸	大嶺 春子(春蘭)	那覇市文化協会 写真部会
	宮良 信詳	阿波連 京子	
豊見城市文化協会	西川 帆秀	金城 勉	
八重瀬町文化協会	一条 玉峰	生田 明子	八重瀬町 民俗芸能連絡協議会
南城市文化協会	大城 光男	内間 みどり	琴生流 琴和会
与那原町文化協会	城間 勇	下地 幸子	
南風原町文化協会	大城 みゆき	赤嶺 香	照屋区伝統芸能保存会
糸満市文化協会	湖城 静子	潮平 浩佑	
(一社)宮古島市文化協会	前里 博美	平良 務	(一社)宮古島市文化協会 宮古民謡協会
石垣市文化協会	新井 勝己	東大浜 剛	
計(名・団体)	30名	29名	15団体

受託事業

令和3年度 地域伝統文化の継承・発信支援事業



「第8回特選沖縄の伝統芸能」公演

開催日時: 令和3年11月28日(日)

18:00~20:00

会場: 国立劇場おきなわ大劇場

主演団体・演目:

市町村	団体	演目
宜野座村	宜野座区二才団	京太郎
金武町	金武町中川区青年団	エイサー
読谷村	伊良皆芸能保存会	京太郎
那覇市	末吉町獅子舞保存会	獅子舞
宮古島市	久田流家元久田舞踊研究所	とうがにあやぐ

シマdeシンポジウム(座談会編)

- 国頭村安波のシマグ×しまくとぅば

開催日時: 令和3年12月11日(土)13:00~15:00

場所: 安波公民館会議室

- 首里キューナ×しまくとぅば

開催日時: 令和4年3月16日(水)14:00~

場所: 沖縄県立博物館・美術館 博物館実習室

- 糸満ハーレー×しまくとぅば

開催日時: 令和4年3月28日(月)18時~

場所: 糸満海人工房・資料館

保存会等の芸能の普及・継承状況調査

市町村	芸能	継承団体
名護市	世富慶エイサー	世富慶区
うるま市	平安座十七日会	平安座区
嘉手納町	道イリク・野里棒	野里共進会
八重瀬町	富盛の唐人行列・大和人行列	富盛区
南城市	当間の獅子舞	当間伝統芸能保存会
久米島町	獅子舞	兼城民俗伝統芸能保存会
石垣市	獅子舞・棒	白保区
石垣市	獅子舞・棒	宮良区

受託事業

令和4年度 地域伝統文化の継承・発信支援事業



「第9回特選沖縄の伝統芸能」公演

開催日時: 令和4年11月20日(日)18:00~20:00

会場: 国立劇場おきなわ大劇場

主演団体・演目:

市町村	団体	演目
今帰仁村	今泊伝統芸能保存会	棒術
嘉手納町	(一財)嘉手納町野里共進会	野里のイリク、野里棒
西原町	西原町幸地区自治会	遊び天川 三人オージメー
南城市	当間伝統芸能保存会	当間の獅子舞
久米島町	兼城伝統芸能保存会	兼城獅子舞 しゅんどう

シマdeシンポジウム(座談会編)

- 旧正月から始まる地域の伝統

開催日時: 令和5年2月23日(木)10時~12時

場所: 沖縄県立博物館・美術館 博物館実習室

- 宜野座の八月あしび×しまくとぅば —未来につなげる地域の伝統—

開催日時: 令和5年3月28日(火)17時~19時

場所: 宜野座区事務所

※沖縄県文化協会のwebサイトのYouTubeチャンネルで動画をご覧いただけます。



受託事業

令和3年度 しまくとぅば普及センター運営事業 報告

項目	事業内容		実績	
人材育成・活用	普及に携わる人材の育成	講師養成講座(中級)北部開催	30名	初級の認定を受けた44名のうち35名が受講、30名が試験に合格。
		講師養成講座(初級)石垣開催	46名	51名が受講し、試験合格者46名。
	人材バンクの設置	講師養成講座 上級認定者	36名	令和2年度中南部開催上級認定者
		講師養成講座 中級認定者	30名	令和3年度北部開催中級認定者
	育成した人材の派遣・活用(講師派遣)	島くとぅばクラブ	延べ65名	具志川小学校(うるま市)
		うちなーぐちクラブ	延べ96名	嘉手納小学校(嘉手納町)
		しまくとぅば学習会	延べ94名	那覇商業高等学校(那覇市)
		しまくとぅば会話実戦	26名	しまくとぅば励行の会(名護市)
		うちなーぐちクラブ	延べ179名	宮城が原児童センター(浦添市)
		コロナのため5件中止		当山小学校、奥武山公園、わくわく学童クラブ(屋富祖)、わくわく学童クラブ(前田)
育成した人材の派遣・活用(講師紹介)	しまくとぅば授業	延べ524名	オキナフインターナショナルスクール(南城市) 小学1年～中学3年間22回の授業	
	コロナのため中止		沖縄県総合教育センターの教員対象の講座うちなーぐちクラブ実践指導講座	
シンポジウム・講習会	シンポジウム しまむにと八重山文化の未来		200名	危機言語の八重山語をどう次世代に繋ぐかを考える
	児童による作詞・朗読むとぅば6言葉		6	本部町の児童の詩を6地域(具志堅、渡久地、瀬底、崎本部、伊豆味、伊野波)の言葉に訳し、本人による朗読を収録してしまくとぅばナビのYouTubeチャンネルに掲載
	母と子のしまむに			石垣市で収集した単語をデータ化し、例文を付けて辞典にするための編集をした
	コロナのため中止			小学生のためのしまくとぅば
普及ツールの作成	しまくとぅば単語帳5級			中南部の単語帳(検定・学校のクラブ活動で活用)
	とぅぐちとぅば単語帳初級			中南部の単語帳(検定・学校のクラブ活動で活用)
	どうなんむぬい単語帳初級			与那国の単語帳(検定・学校のクラブ活動で活用)
	さーむにー単語帳初級			大宜味村塩屋の単語帳(検定・学校のクラブ活動で活用)
	しまくとぅば会話集(国頭村辺野喜)			学校、公立図書館等に配布
	しまくとぅば会話週(南城市久高島)			学校、公立図書館等に配布
各実施主体との連携協力 データベースの作成	しまくとぅば語やびら地区大会		12組18名	コロナのため大会は中止し、収録してしまくとぅばナビのYouTubeチャンネルに掲載
	おきなわ文学賞	琉歌部門	54名	応募作品数228、入賞10作品
		演劇戯曲部門	8名	応募作品8、入賞3作品
		受賞作の上演		コロナのため中止
	本部言葉アーカイブ実証実験		150	本部町の5字の話者の会話をFM本部で発信、音声を収録
新城島下地言葉アーカイブ実証実験		8	単語帳9級の単語を下地言葉に翻訳して音声を収録	
口総合窓機能	情報提供			
	問合せ			電話・メール等による問い合わせに対応
活動報	センターの周知活動			それぞれの事業について取材依頼
	しまくとぅばナビの運用			Web、SNSで情報発信
その他効果的な取り組み	しまくとぅば検定試験9級～5級		527名	9級/受験119名合格111名、8級86名合格81名、7級63名合格81名、6級84名合格83名、5級175名合格164名
	しまくとぅば検定(学校受験)		221名	キリ大7級46名合格45名、具志川小9級50名合格47名、泊小8級125名合格113名
	とぅぐち言葉検定9級		114名	一般35名合格27名、本部小79名合格56名
	しまむに検定9級		42名	42名合格37名
	どうなんむぬい検定9級		53名	53名合格51名

受託事業

令和4年度 しまくとぅば普及センター運営事業 報告

項目	事業内容		実績	
総合窓口	情報提供	総合窓口 概要・概況	年間207件 <ul style="list-style-type: none"> 上半期は、NHKの「チムドンドン」の放送開始以来、番組で使われているしまくとぅばへのクレームや持論主張の電話が目立った。 夏頃から、マスコミや報道からの問い合わせ等が散見された。 また、しまくとぅば検定の募集が始まると「しまくとぅばナビ」のWebサイトの訪問者は緩やかに増加傾向。 下半期は、行政や企業からの問い合わせが増えた。 また、卒業論文制作の大学生からの問い合わせも増えるなど、対応に慎重を要する案件が増加傾向。 	
		SNSでの 情報提供	フェイスブック記事 ツイッター フェイスブックにしまくとぅばの単語やイベントの告知など、年間169件の記事を掲載した。地区のしまくとぅば団体の情報交換会で、記事の執筆依頼をした。 年間約300本のつぶやきを、ポットでランダムに掲載した。	
	データ 収集と 提供	人材バンク	令和4年度登録78名 ※年度ごとに登録更新 出身や話す言葉、講師や話者など要件ごとに分類し紹介できるように、登録願いを出し、分類してデータを整備した。本人の自己申告なので、中には信頼性に欠けるものがあるので、安心して紹介できるかの検証が課題。	
人材バンクの 設置及び活用	情報交換会	第1回 51名参加	それぞれ北、中、那覇・南部の3地区で開催。センターの事業の説明、活動団体の活動報告や情報交換と意見交換などを行った。	
		第2回 68名参加		
	派遣講座・モデル事業	派遣講座13件	依頼のあったところに人材バンクを活用して講師を派遣。	
		モデル事業7件	人材バンクを活用して普及に効果的と思われる事業を実施。	
	講師養成講座／北部	上級講座	28コマの授業を行った。26名が受講し、16名が認定された。更に卒業生の中から3名に実際の講師として、県立博物館・美術館で講座を開催した。	
	講師養成講座／八重山	中級講座	30コマの授業を行った。29名が受講し、26名が認定された。	
	人材バンク 活用推進委員会	委員会6回と ワーキンググループ1回	人材バンクの登録者を養成するため、特に講師養成講座の内容の検討や認定の判断などを行った。(報告は講座に含む)	
検定	単語	どなんむぬい中級	どなんむぬい単語帳中級を作成。どなん引き1,075語、標準語引き1,040語掲載。	
	中南部、八重山、 与那国検定	中南部検定試験 9・8・7・6・5級	9級申込554名、受験420名、8級申込238名、受験118名、7級申込330名、受験192名、6級申込9名、受験25名、5級申込85名、受験46名。今年度は、7・8・9級の検定試験をWebで行い、6・5級は会場を借りて行った。Webで約2週間の間いつでもどこからでも受けられることから、遠方からの受験者も増えたが、会場受験は申込者の半分しか来ない結果となった。実力を図りたい人たちのイベントになる一方で、学ばないで受験し残念な結果になる方々も多くいて、「学ぶ」事が大きな課題となった。また、申し込むともらえる単語帳のみを目標として申し込む方も見受けられ、単語帳を作成して試験を行うという方法も今後の検討課題の一つとなった。	
		八重山9・8級 与那国9・8級	八重山9級申込46名、受験26名、8級申込49名、受験30名。与那国9級申込52名、受験29名、8級申込58名、受験38名。八重山、与那国は地元からの要望により9・8級の試験をWebで開催した。	
	しまくとぅば検定 検討委員会	検定検討委員会	委員会で中南部の6・5級の作問をするとともに、Can-doリストの必要性などを話し合った。	
その他普及 啓発	黄金言葉カレンダー	黄金言葉と絵を公募し作成	2,800部を県内の小・中・高に配布した。黄金言葉は一般公募、絵は高校に公募し、音声も付けてQRコードから聞けるようにした。	
	しまくとぅば50音表	新しい50音表を作成	18,000部を作成し、ひらがなとカタカナを覚えた県内の小学1年生全員に配付した。	
	その他啓発事業	ゲームアプリ作成		しまくとぅばがわからない子でも遊べ、ステップアップできるようなゲームアプリを制作した。CMS機能を持たせ地域の拡張を可能にした。(次年度地域の拡張予定)
		Webサイト改修		しまくとぅばナビのトップページを改修し、より興味を引きやすいように、SNSとも連携しやすようにした。
		JTA紙芝居		しまくとぅばの紙芝居動画を作りたいと、JTAから相談があり、センター長が監修し完成。機内で放映されている。
		世界のウチナーンチュ大会		世界のウチナーンチュ大会のイベントの一つ「三線フェスティバル」でしまくとぅばを取り入れたいと相談があり、クイズの問題を作成して提供した。
		県総合教育センター訪問		毎年夏休みに講師の派遣依頼がある県総合教育センターを訪問して、現状の聞き取りと協力を依頼した。
		琉歌をテーマとした講演		昨年度から予約があった、沖縄市文化協会しまくとぅば部会の依頼で、波照間永吉先生の講演を行った。
		しまくとぅば翻訳		世界のウチナーンチュ大会やしまくとぅば県民大会のイベント時に知事・部長等の挨拶を、人材バンクの人材に依頼して翻訳した。
		センター会議		年間20回のセンター会議を行い、事業の方向性や進捗を、都度確認しながら進めた。
電子ブック		「しまくとぅばナビ」のダウンロードページの会話集、単語帳を電子ブックにして見やすようにした。		